

総務委員会研修報告

十月二十五日、二十六日、議会改革とゴミ処理施設を研修。

東京都羽村市議会では効率的で簡素な議会運営、市民にわかりやすく開かれた議会を構築すべく議会改革検討委員会を設置して、議会の運営、議会構造及び制度の改革など広範囲にわたって逐次具体的な取り組みがされてきた。また、ゴミ処理施設は、山梨県のまるの森グリーンセンターを視察。同施設は焼却処理能力百四t（二十四時間×二炉）と灰溶融設備（十三t×二十四時間）

それに資源の再循環利用を行うためリサイクルプラザを併設し、最新の設備による公害防止と環境保全に努めた安全でクリーンな施設であった。一方で運営管理費などに毎年多額の経費負担となっている。特に広域による施設で場所の決定までには相当な苦勞をした



▲議会改革の研修（東京都羽村市）

とのこと、今小城市は多久市との広域での施設建設に取り組みをしている。建設費はもちろん維持管理を含め、効率性、経済性を考慮した施設の建設が望まれる。最後にこの研修を議会活動に生かし、小城市の発展に努めていきたい。

意見・陳情書

意見書一件、陳情書三件が提出され、十二月議会の最終日、意見書について審議しました。

産業経済委員会研修報告

十月二十五日から二十七日の日程で農業振興策として、地産地消、農業サポーターの取り組みについては仙台市、蔵を活かした官民一体の街づくりが進んでいる岩手県奥州市江刺商工会議所を視察した。仙台市は人口百万の大都市。消費者と生産者の相互理解を促進させる「地産地消」を手段とした仙台農業の振興が図られている。生産者の顔の見える販売促進のため情報の提供、発信、交流機会の創出、仙台地産地消フォーラム開催、地場農産物表示制度など地

意見書

「最低保障年金制度の創設を求める意見書」について、国保税の未納者と納付者に不平等が生じるなどの意見が出され、賛成一名のみで、不採択となりました。

3月定例会（予定）のお知らせ

3月1日（木）	開会（提案理由説明）
5日（月）	本会議（一般質問）
6日（火）	本会議（一般質問）
7日（水）	本会議（一般質問）
8日（木）	本会議（一般質問） （議案質疑）
9日（金）	本会議（議案質疑）
12日（月）	常任委員会
13日（火）	常任委員会
20日（火）	採決、閉会

なお、日程は変更される場合があります。詳しくは議会事務局（☎63-8810）まで。

市議会は公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。市民の皆様のお越しをお待ちしています。

域での事業展開がなされている。農業サポーター事業では都市農村交流として、農家は市民に農作業手伝いでサポーターを受け、市民は農業に触れながら多少の所得が得られる。サポーターは「養成講座」の終了生（約八カ月の研修）に限られる。江刺商工会議所では、近年中心商店街は郊外型大型店舗の進出、ロードサイドショップの充実などによる客離れや中心商店街の空洞化で空店舗が目立っている。そこで市内の若手経営者達が立ち上がり街づくり会社「K



▲まちづくりについて研修（岩手県奥州市）

K黒船」を設立し、都市計画事業による市街地再構築を図る中、歴史的貴重な財産である「蔵」に着目し提言や活動を行い「蔵」を活かした街の再生に向け本格的な取り組みが始められた。小城市には、農林水産、商工、飲食、サービス産業がありこの研修を議会活動に活かしたい。

編集後記

十二月議会は、二十六名中二十二名が発言した。限られた財源での効率的な事業のチェックや提言など議論となった。

ところで平成十九年度の政府の当初予算は、二年連続で地方交付金の減額。地方は財政難と減額で悲鳴を上げている。

住み良いまちづくりには、一定の財源は必要。効率的な事業のあり方など、チェック機能としての議会の動きが分かるように、編集に努めたい。（諸）



委員長	平野 泰造
副委員長	江島佐知子
委員	松尾 義幸
〃	諸泉 定次
〃	樋渡 邦美
〃	香月チエミ